

表紙にある「地を究め 知を創る」は、教育の舞台となる地域で学び、フィールドでの実践が新たな知を創造していく、本学の学びのあり方を表現しています。また、表紙・裏表紙を大胆に彩るデザインには、ロゴと学部・学科のカラーを使用。多様な分野の「知」が相互に関わり発展していく様子を表現すると同時に、紅葉をいただく大江山や北近畿を貫く由良川を想起させる配色とし、福知山を含む北近畿の「地」を示しています。

大学概要2023

福知山公立大学の「現在」



【地域経営学部】地域経営学科／医療福祉経営学科
【情報学部】情報学科

〒620-0886 京都府福知山市字堀3370
TEL.0773-24-7100 FAX.0773-24-7170

<https://www.fukuchiyama.ac.jp>

福知山公立大学 検索



2023年11月 発刊

地を究め
知を創る



本番はこれから

―地域貢献のレベルアップのために―

福知山公立大学は前身の成美大学から公立化して7年が経過しました。設置団体である福知山市や北近畿の自治体によるご支援、さまざまな経済団体や企業体との連携、小中高との教育上の接続、種々のNPO・NGOとの協働など、そして一般市民の皆さまのご支持によって、本学は地域のなかで一定の存在感をもつ大学として認められるようになりました。全国各地から有為の入学志願者を集めていること、経常的予算において健全な収支状況を保てるようになっていことは、本学の安定的な存在感の現われです。ご支持・ご支援してくださっている皆さまに深く感謝いたします。

しかし、まだ7年であり「本番はこれから」です。大学院地域情報学研究科の2024年4月の開設はその本番の始まりです。また、教職課程（数学と情報）の2026年度の設置も既定路線として動いています。両者によって本学の地域貢献はレベルを一つ上げることになります。とはいえ、地域への貢献をレベルアップするには、やはり本学の活動の中心である学部での教育・研究を充実させる必要があります。10年、20年後、さらにその先の未来の福知山公立大学を創造するための本番は、はじまったところです。

本学の現在の姿を紹介するこの冊子をご覧ください、未来の姿とともに思い描いていただき、さらなるご支援を頂戴できることを期待しております。

理事長兼学長

川添 信介

1955年佐賀県生まれ。1978年京都大学文学部哲学科卒業。同文学研究科博士課程、フランス留学を経て、1985年大阪市立大学文学部助手。1996年に京都大学文学研究科助教授となり、教授、文学研究科長、理事・副学長を経て、2020年退職。専門は西洋中世哲学史。主たる研究テーマはトマス・アクィナス。著書に『水とワイン西欧13世紀における哲学の諸概念』『トマス・アクィナスの心身問題『対異教徒大全』第2巻より』など。

学章



福知山市の市花であるキキョウの花の後ろから放射状に5本伸びているのは、「花のガク」を表しており、5本のガクがそれぞれ、大学の役割である「教育」・「研究」・「人材育成」・「情報発信」・「地域貢献」を表し、それらが支えとなって力強く花開く“福知山公立大学”の姿を表現しました。

ロゴマーク



福知山の「F」をデザイン化したもの。二つの矢印は、上の紫が大学を、下の黄緑が学生をそれぞれ表し、福知山公立大学の最大の特徴である地域協働型教育研究により、学生や教員が大学内から地域に向けて飛び出していくとともに、力強く未来へ飛躍していくイメージを表現しています。

INDEX

1	理事長兼学長挨拶
2	基本理念・目標 基本情報 沿革
3	第2期中期目標 福知山モデル
5	教育・研究
7	地域連携
9	2022～2023年度上半期のトピック
11	データ集
11ー	学生数 入試実施状況
13ー	就職状況
14ー	財務状況
15ー	地域連携
17ー	組織 教職員数
18	キャンパスマップ アクセス

基本理念・目標

大学の基本理念は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」である。

この基本理念の下、大学は地域と協働し多様で主体的に行動する人材の育成、地域産業の活性化と新産業の創造、暮らしの質・文化の向上、さらには若者が定住する賑わいある地域づくりや北近畿地域で学び働く人材循環システムの構築、地域協働型教育研究の発展など新たな社会的価値の創出に寄与することを目標とする。

基本情報

2023年5月1日現在

法人名	公立大学法人福知山公立大学	学生数	854人
法人設立	2016年	教職員数	【教員】61人 【職員】49人
所在地	京都府福知山市字堀3370番地	校地校舎	【校地】29,771.13㎡ 【校舎】13,395.53㎡
組織	【学部】地域経営学部（地域経営学科、医療福祉経営学科） 情報学部（情報学科） 【大学院】地域情報学研究科（地域情報学専攻）※2024年度開設 【附属機関】北近畿地域連携機構、メディアセンター、地域防災研究センター、国際センター、数理・データサイエンスセンター		

沿革

（公立化以降）

2016年（平成28年）

- 公立大学法人福知山公立大学設立（設立団体：福知山市）
地域経営学部（地域経営学科40人、医療福祉マネジメント学科10人）
- 初代理事長兼学長に井口和起が就任
- 北近畿地域連携センター設置（2020年に北近畿地域連携機構に名称変更）

2017年（平成29年）

- 医療福祉マネジメント学科を医療福祉経営学科に名称変更
- 地域経営学部の入学定員を変更（地域経営学科95人、医療福祉経営学科25人）

2018年（平成30年）

- ましかどキャンパス「吹風舎」設置

2020年（令和2年）

- 情報学部設置（情報学科100人）
- 地域経営学部の入学定員を変更（地域経営学科75人、医療福祉経営学科25人）

2021年（令和3年）

- 地域防災研究センター設置
- 国際センター設置

2022年（令和4年）

- 2代目理事長兼学長に川添信介が就任
- 数理・データサイエンスセンター設置
- 5号館竣工



開学記念式典（2016年4月）

これまでの 本学重点施策

- **学びの拠点基本構想**（2015.3）
地域を担う人材育成/産業振興/生涯学習
- **知の拠点整備構想**（2018.2）
情報学部設置/文理連携強化/産業振興
- **福知山公立大学将来計画**（2021.3）
福知山モデル/大学院設置/
学部学科編成最適化/キャンパス充実

「福知山モデル」の実現をめざして

「福知山モデル」とは、地域貢献を大学の活動に「付帯するだけの成果」と見なすのではなく、教育研究活動全般が「そこから発想され、そこに向けて」行われる基本軸とするモデルのこと。一般化され、他の地域社会においても持続可能な社会の形成と地域創生にとって利用可能な、大学を核とした地域創生の先端事例となることをめざします。



第2期中期目標

令和4年度から令和9年度の6年間で「福知山モデル」の実現をめざしています。

情報学部を中軸とする大学院設置(令和6年度)、学部学科編成の最適化

文理連携の強みを活かした地域協働型教育研究の更なる充実・発展

産学官連携組織(コンソーシアム)の構築と研究成果の地域社会への還元

研究資金、寄附金等の様々な外部資金の積極的な獲得

優れた教職員の確保と効果的な人事管理制度の運用

学生への様々な修学支援の充実

「福知山モデル」実現に向けた取り組み

多様な取り組みを通じ、大学が持つ地域経営学・情報学の専門的知見や技術、学生の力を核とした地域創生の先端事例となる「福知山モデル」の構築をめざしています。

教育・研究

―― P5-6

- 地域の課題と向き合い、解決に取り組む“地域協働型教育研究”
- 学生発の地域貢献事業を大学が支援する“学生プロジェクト”
- 北近畿の事業所等で就業体験を行う本学独自の“インターンシップ”
- 自治体の防災・危機管理に寄与する“地域防災研究センター”
- 数理・データサイエンスの教育研究を行う“数理・データサイエンスセンター”



地域連携

―― P7-8

- 大学と地域をつなぐ連携拠点“北近畿地域連携機構”
- 大学や地域の人々が集い、学び合う“まちかどキャンパス「吹風舎」”
- 地域の未来を切り拓く“福知山ならではの”多世代人材育成
- 地域の多文化共生事業や国際交流活動を支援する“国際センター”
- 多様な分野の専門書や地域資料を収集する“メディアセンター”



地域で学び、次の時代に貢献する 地域協働型教育研究

本学には、地域貢献を志す意欲溢れる学生が全国から集まっています。「地域協働型教育研究」は、そんな学生たちの期待に応えるべく、住民や企業・団体など地域の方との協働を通じて、地域社会が抱えるリアルな課題と向き合う教育活動です。実際の地域課題を題材に、教員が持つ地域経営学や情報学といった専門分野の理論・手法を活かした演習・実習を展開しています。地域資源を活用した学習で、持続可能な地域社会の実現に貢献できる実践的能力が養われると同時に、地域課題解決にも寄与します。

地域協働型教育研究の事例



若者酒づくりプロジェクト

若者の日本酒離れに歯止めをかけるため、産学連携プロジェクトにより純米吟醸原酒「Chillな夜に癒しを得る」の開発・販売を行い、本学の学生は商品企画と酒造りを担当しました。



ハイブリッド型地域通貨「けーら」

福知山市大江町毛原地域で使用されていた紙幣型の地域通貨「けーら」の利便性を向上させるため、電子マネーのチャージや支払い方法等の仕組みを構築し、新たなデジタル地域通貨「けーら」を開発しました。



医療・福祉から考える地域経営

北近畿地域の保健医療福祉の課題を事前学習した上で、舞鶴市などでフィールドワークを行いました。同市では引揚記念館を訪問した後、医療や地域福祉計画の策定方法を学び、地域の課題解決の方法を考えました。

学生プロジェクト

地域特性を活かした地域との協働を核とする学生の自主的な活動を本学がプロジェクトとして採択し、活動費等を支援する制度



子どもの居場所づくり

子どもたちの第3の居場所として「ふくちやま子ども食堂」を開催。安価で栄養のある食事提供や、学生との勉強や遊びなど、親子で安らげる時間や空間を提供しています。



Virtual Fukuchiyama Fes

VR空間上で、音楽イベントを開催し、オンラインイベントを通して福知山の魅力を発信。実際の観光客の誘致をめざし地域活性化を図っています。

インターンシップ



大学の学びと社会での経験を結び付け、自己の職業適性や将来設計について考える機会を提供する本学独自のインターンシップ制度を設けています。北近畿を中心とする地域の事業所にて、前半に就業体験、後半に学生主体の作業実施やプログラム開発等を体験する中で、職業意識の育成や企業理解の促進を図っています。

学部・学科

地域経営学部

「地域経営学」を用いて、公共経営や企業経営、交流観光、医療・福祉などの観点から持続可能な社会の構築をめざします。

■ 地域経営学科
(入学定員75名)

公共経営系
企業経営系
交流観光系

■ 医療福祉経営学科
(入学定員25名)

HPはこちら

学びの特色

地域で学び、地域に還元する「地域協働型教育研究」
大学の学びと社会での経験をつなぐ「地域キャリア実習」
「初級地域公共政策士」「診療情報管理士」など充実した資格取得支援体制

公共経営系

官民協働による持続可能な公共経営のあり方を理解し、分野を越えて社会を発展させる方法を得る。
社会の変化に対応した企業の組織管理、経営戦略、新製品の開発等に関わる知識や手法を学ぶ。

交流観光系

地域固有の資源を活用した観光を構築・発信し、地域を活性化させる知識とノウハウを身につける。
診療情報管理士の資格取得をめざし、医療・福祉の経営に参画できる知識と技術を得る。

情報学部

高度な知識習得のための3つの専門領域から、情報技術の地域社会への応用を学びます。

■ 情報学科
(入学定員100名)

人間・社会情報学トラック
データサイエンストラック
ICTトラック

HPはこちら

学びの特色

事例から原理に近づき専門性を高める「帰納的学習」
実践を通じて情報学を習得する「IT実習」
情報学の知見と技術を用いた「PBL(課題解決型学習)」

人間・社会情報学トラック

AI(人工知能)やエンタテインメントなどで発達する情報技術を身につける。
ビッグデータを収集・分析し、価値を付加することで、地域・社会が抱える諸課題の解決をめざす。

ICTトラック

情報の解析やアプリケーションの開発を通じて、地域・社会が抱える諸課題の解決法を学ぶ。

教育・研究を推進する附属機関

地域防災研究センター

地域経営学、情報学の専門的知見を活かし、福知山周辺地域で蓄積されてきたデータの収集・分析を基に、地域防災に関する現状把握・課題・対応策などの研究を行います。その内容や成果を社会実装につなげるとともに、より包括的な地域防災のあり方への提言を行うなど、自治体の防災・危機管理に寄与することをめざしています。

- 地元企業と制作した簡易雨量計・簡易水位計(超音波式)を市内の法川と弘法側に設置し、観測システムを構築しました。また、携帯電話会社が保有する人流データを活用した過去の災害時における市民の避難行動の分析、市街地の浸水想定区域における住民の防災意識調査等を実施しています。



HPはこちら

数理・データサイエンスセンター

現代社会で必須とされる数理学やデータサイエンスの本学および北近畿地域における拠点として、数理・データサイエンスの教育及び研究を推進すること並びに、諸機関との関連するテーマにおける共同研究などを通じて、その発展に寄与することをめざしています。

- 文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、情報学部のカリキュラムを用いたプログラムが「応用基礎レベル」に認定されました。



HPはこちら



応用基礎レベル



リテラシーレベル

北近畿地域連携機構



北近畿地域における教育研究活動の連携拠点として、福知山公立大学と北近畿地域の企業、行政機関その他各種団体をつなぎ、北近畿地域の発展に向けて取り組む組織です。

企業や地域住民から課題の相談を受け、教員につなぐほか、各種公開講座の提供などを通じて、地域社会への貢献を推進します。

- 自治体、企業、研究機関からの共同研究や受託研究のニーズと本学教員のシーズをつなげるリエゾンオフィスの役割を担います。
- さまざまな分野の講演会や学習会等の実施、社会人キャリア支援講座等の開催など、地域と連携した教育事業に取り組んでいます。

所在地 京都府福知山市字堀3370
福知山公立大学 2号館1階「Kita-re」

TEL 0773-24-7151

Email kita-re@fukuchiyama.ac.jp

<https://www.fukuchiyama.ac.jp/kitare/>



HPはこちら

地域の人材育成プログラム

NEXT産業創造プログラム

起業をめざす方が必要な知識やスキルを短期間で修得するための「NEXT産業創造プログラム」を実施しています。
本学教員をはじめ各界で活躍する起業家を講師に招聘し、新たな価値創造に挑戦する人材育成をめざします。



シニアワークカレッジ ～福知山市リスクリブプログラム～

シニアを中心とする幅広い世代を対象に、ビジネスで役立つ最新の情報技術が学べる「シニアワークカレッジ」(主催:福知山市)を開講しています。

コース名

- シン・データサイエンスコース
- AI人材育成コース
- 広報用動画制作コース
- 組込みハードウェア設計コース
- ドローンの自動操縦で学ぶプログラミングコース



市民講座

大学の持つ「知」を広く市民に提供し、持続可能な地域社会形成の一助となることを目的として、講演およびパネルディスカッションを実施しています。

講座タイトル

- クラウドファンディングによる地域活性化
- まちづくりにおける地域企業の挑戦
- "教育"でまちづくりを考える
- ゲームを用いた教育と地域貢献



小中学生向けプログラミング教室

福知山市・丹波市・朝来市の小・中学生を対象に、情報技術の楽しさや面白さを優しく丁寧に教えるプログラミング教室を開催しています。

コース名

- ゲームでプログラミング
- プログラミング導入門
- ロボットカー製作講座
- サウンドクリエイティブ講座



まちかどキャンパス「吹風舎」

まちかどキャンパス「吹風舎(ふくちしゃ)」は、かつて福知山の商業の中心地だった新町商店街の空き店舗を改装し、本学のサテライトキャンパスとして2018年5月に開設しました。おすすめの本を持ち寄る「ライブラリー」、アートや活動紹介を展示する「ギャラリー」、プロジェクトのミーティングスペースとして活用する「ベース」など様々な企画を実施し、学生・教職員や地域の人々が集い、学び合いや共同作業を通じて交流を深めています。



取組紹介



学生が教育研究活動で自由に利用できる



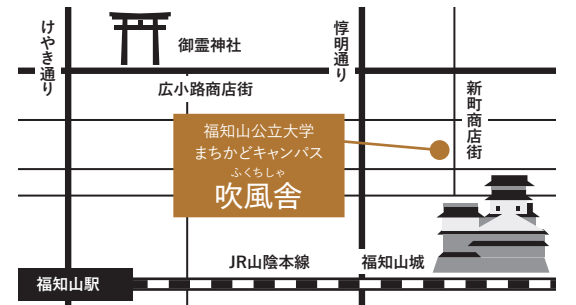
新町商店街で開催されるワンダーマーケットにて学生団体が地域の子供向けのワークショップを開催

利用案内

開館日	毎週火曜日～土曜日／13時～18時
対象	誰でも利用可
利用方法	【個人、グループで自由に使う場合】予約不要 【市民活動やサークル、ゼミで貸切利用する場合】要予約
申込先	TEL.0773-45-3087 Email.machikado@fukuchiyama.ac.jp



HPはこちら



国際センター



国際的な視野に立った研究・教育活動および国際交流事業を展開し、地域の国際化に貢献するとともに、日本の地域ならではの独自の視点を世界に向けて発信することをめざしています。

- 地域の国際交流活動支援として、地域の多文化共生事業や国際交流活動に協力するとともに、教員の専門性を生かした多文化共生や外国人支援に関する出張講義や市民向け講演会を行います。



HPはこちら

メディアセンター



メディアセンターでは本学の研究・教育・学修のために不可欠な資料を収集、組織、保管して、学生や教職員に提供しています。現在、北近畿地域資料を含む約9万冊の図書や30種余りの学術雑誌を所蔵しており、生涯を通した「学び場」の提供として市民の方にも広く開放しています。



HPはこちら



2022～2023年度 上半期のトピック

産学公連携組織「北近畿コラボスペース」を設置



北近畿地域の産学公の各分野が抱える課題に対して、多様なステークホルダーが情報を発信、共有し、さまざまな情報やアイデアを蓄積、可視化することにより、新たな価値の創造や地域課題の解決を目的として、産学公連携組織「北近畿コラボスペース」を設置しました。「Slack」を活用することで会議形式にこだわらずオンライン上のスペースに会員が自由に集まり、ネットワーク上のつながりと自由な情報交換により、既存の連携の枠を超えた新たな価値創造をめざします。



HPはこちら

大学院地域情報学研究科を令和6年度に開設

大学院地域情報学研究科 地域情報学専攻(修士課程) 【入学定員】 20名 【学位】 修士(情報学)／修士(学術)



HPはこちら

大学院の特色

地域と共に成長する大学院

福知山公立大学大学院地域情報学研究科は、その名の示す通り、情報学の深化をめざす研究開発に加え、その成果を地域にねざした実践活動に適用することをめざします。そこで、当研究科では、社会科学をはじめ幅広い領域の知見を含む「2本の柱」とも呼べる教育研究のアプローチを実現します。

地域にねざした教育・研究の「2本の柱」

地域社会に貢献する 情報学の深化と研究開発

先進的な情報技術や理論をさらに深化させ、情報学の新しい知を創造する研究活動に取り組みます。

情報学による地域にねざした 実践的プロジェクトの遂行

地域社会の課題解決に向けたプロジェクトを展開し、情報学を中心とした技術体系を社会に実装するための実践活動に取り組みます。

1
年次

研究・実践の足掛かり
(フィールド調査)
プロジェクト/研究のための基礎調査

情報学系科目
情報学の先端技術
および知見を学ぶ

社会科学系科目
実践のために
地域社会を理解する

文理融合科目
地域と情報の
実践的な接点を学ぶ

2
年次

地域情報プロジェクトコース
修士(学術)
実践的プロジェクト
地域社会に貢献する

情報学研究コース
修士(情報学)
情報学研究の深化
学術研究成果を形成

研究テーマ例

修士課程で実際に取り組むテーマは、地域課題を扱う実践的なプロジェクトから情報学研究までさまざまなものが想定されます。

福祉とロボット

地域福祉活動にAI・ロボットを実践的に導入することに関する研究、中山間地域における遠隔ロボットによる福祉活動の実現、遠隔ロボット・AIによる福祉活動/プランニングに関する相談・支援などを実現

教育のDX化

タブレットなどの情報機器を用いた学習経過記録の利活用を積極的に展開。福知山市をはじめとした北近畿地域の小中学校教育を推進する活動に参加し、アプリ開発、ログを活用した学習分析を実施

公共・観光の スマート化

観光や防災、あるいはMaaSなどの分野における人流計測および人流データの解析を通じて、地域特性に応じたサービスの設計、実装に通じる基礎データ解析などを実現

AI・データサイエンス

由良川流域に代表される河川域の大規模浸水災害に対して、ICTを活用した観測網の構築をはかり、地域特性に応じた災害予測などに関する技術を研究開発

ICTによる防災

科学的機序やデータサイエンスに基づくシステムの研究開発、数理的手法を現代社会における諸問題の解決に適用するための基礎研究および応用研究などを実施

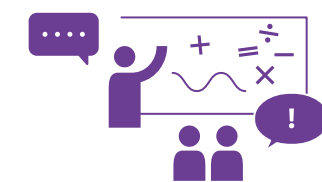
DX導入による業務改革

学内のメールに代わる連絡手段として、ビジネスコミュニケーションツールとして開発された「Slack」を全学的に導入しました。

情報共有、データ保管作業の簡素化による業務の効率化、オンライン審議導入による意思決定の迅速化につながり、大学の運営状況が透明化されることで教職員間の連携が促進されました。

また、ペーパーレス化を推進するため、情報学部が開発した稟議決裁システム「ERINGI」を全学的に導入しました。従来から紙媒体で管理していた経費精算書類および稟議書の電子化が進み、決裁電子化の進捗率は100%を達成しました。

令和8年度の教職課程設置をめざし、始動



地域からの要望が多かった教職課程の設置について、その可能性を学内で検討し、高校の「情報」および高校と中学の「数学」の設置をめざすことを決定しました。学内に教職課程設置プロジェクトを発足し、令和8年度の開設に向けて準備を進めています。

寄附金の活用

本学では福知山市のふるさと納税、企業版ふるさと納税、古本募金などのさまざまな寄附金制度により、個人や企業・団体の皆様からのご寄附を広く受け入れ、教育研究活動や学生支援の充実に活用しています。

福知山市に拠点を置く日本ビラー工業株式会社様から企業版ふるさと納税を通じて頂いたご寄附は、学生の海外留学や起業支援に活用させていただく予定です。地元企業の株式会社大福機工商会様には継続してご支援をいただいております。地元の受験生に大学進学への支度金を給付する本学独自の「大福機工商会奨学金制度」を創設しました。

(2024年度入学者から受給可能)



HPはこちら

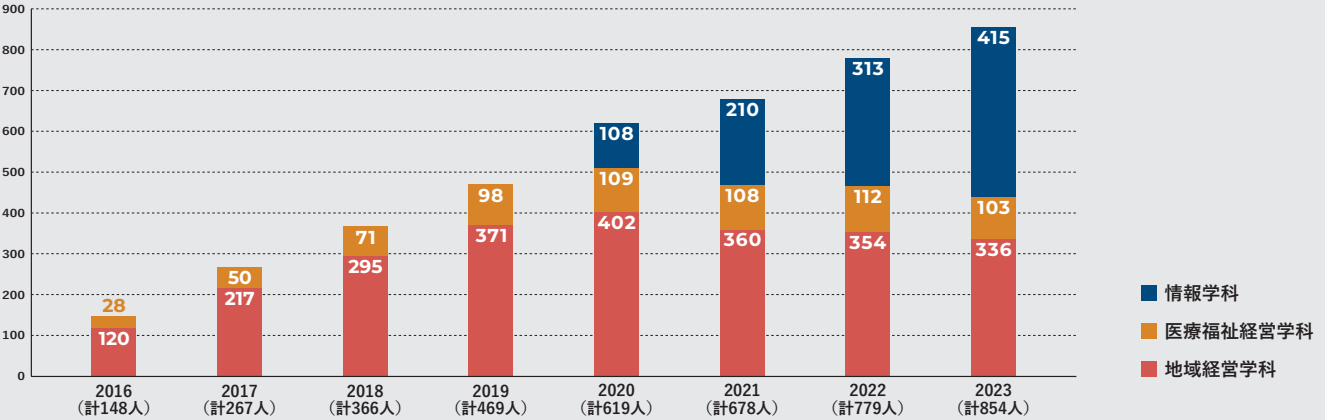


データ集

学生数 (単位:人) 2023年5月1日現在

	収容定員	1年生	2年生	3年生	4年生	計
地域経営学部	414	104	107	108	120	439
	地域経営学科	79	79	83	95	336
	医療福祉経営学科	25	28	25	25	103
情報学部	404	105	105	100	105	415
	情報学科	404	105	100	105	415
計	818	209	212	208	225	854

学生数推移 (単位:人) 各年度5月1日現在

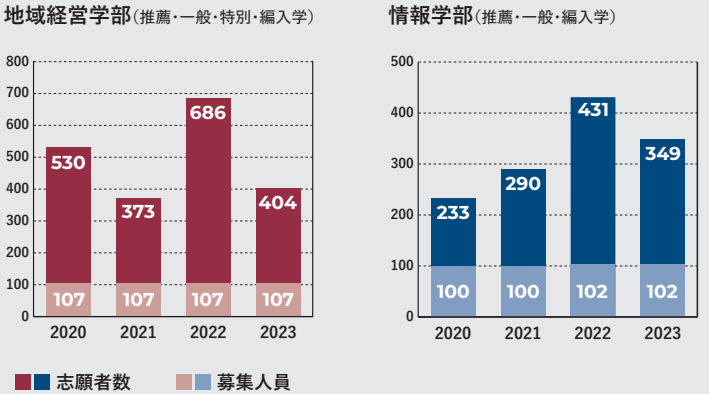


入試実施状況

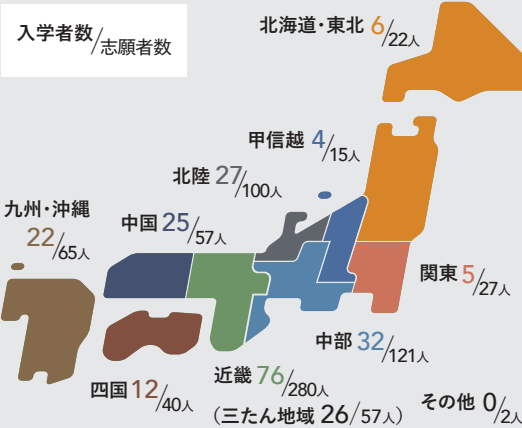
志願者・入学者数 (単位:人) 2023年度

	地域経営学部			情報学部		
	募集人員	志願者	入学者	募集人員	志願者	入学者
推薦(全国枠・地域枠・専門学科枠)	35	75	37	35	72	37
一般(前期(5教科型・3教科型)・後期)	65	310	67	65	272	68
特別(社会人・私費外国人留学生)	若干名	0	0	－	－	－
編入学(2・3年次)	7	19	6	2	5	1
計	107	404	110	102	349	106

志願状況の推移 (単位:人)



地区別志願者・入学者数 ※編入学を除く 2023年度

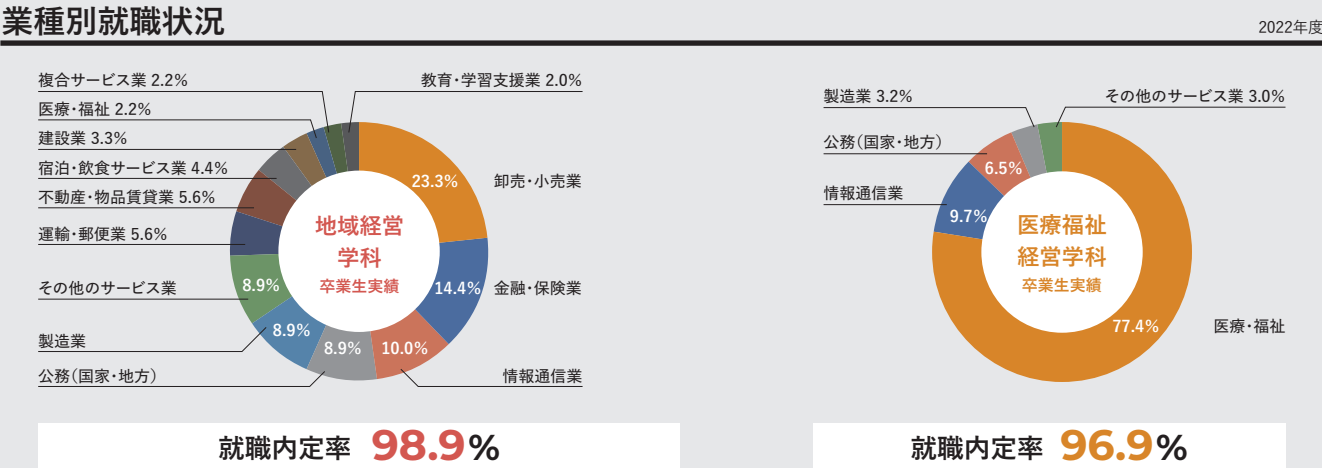
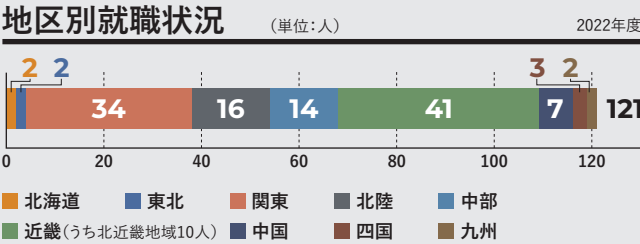


志願者出身高等学校一覧 ※編入学を除く

北海道	入学者数/志願者数：2/10	福井県	18/49
札幌西	帯広柏葉	藤島	若狭
千歳	釧路湖陵	羽水	金津
札幌藻岩	札幌稲雲	福井商業	武生東
旭川西	北海道学園札幌	三国	北陸
旭川商業	北嶺	丹生	仁愛女子
		武生	啓新
		敦賀	敦賀気比
		美方	
青森県	1/1	岐阜県	5/21
八戸北		岐阜北	中津商業
		長良	吉城
		岐山	可児
		岐阜商業(県立)	鶯谷
		大垣南	岐阜東
		大垣東	中京
		加茂	
秋田県	0/2	静岡県	15/42
秋田	本荘	伊東	静岡市立
		伊東商業	富士東
		三島北	伊豆中央
		沼津西	浜北西
		沼津城北	浜松湖南
		富士	浜松江之島
		清水西	科学技術
		静岡	日本大学三島
		静岡城北	星陵
		焼津中央	静岡県富士見
		掛川西	島田樟誠
		浜松西	浜松学芸
		浜松南	浜松日体
		沼津市立沼津	藤枝明誠
山形県	0/2	愛知県	7/33
東桜学館	日本大学山形	愛知教育大学附属	成章
		春日井	豊田北
		長久手	小牧南
		小牧	豊田南
		津島	一宮興道
		横須賀	美和
		安城	岡崎西
		安城東	知立東
		西尾東	名古屋経済大学市邨
		岡崎東	桜花学園
		国府	岡崎城西
		豊橋東	桜丘
福島県	1/2	三重県	5/25
郡山東	磐城桜が丘	桑名	宇治山田
		桑名西	志摩
		神戸	上野
		亀山	川越
		津	高田
		津西	三重
		津商業	皇學館
		松阪	
茨城県	1/7	滋賀県	2/11
水戸第二	伊奈	東大津	米原
緑岡	常磐大学	石山	虎姫
佐和	常総学院	彦根東	比叡山
		八日市	
栃木県	0/3	京都府	25/74
大田原	宇都宮短期大学附属	山城	堀川
		鴨沂	日吉ヶ丘
		嵯峨野	洛西
		桂	鳥羽
		桃山	南陽
		城陽	京都工学院
		亀岡	宮津天橋
		園部	丹後緑風
		綾部	大谷
		福知山	東山
		工業	洛南
		西舞鶴	京都橘
		海洋	京都産業大学附属
群馬県	2/7	京都市	25/74
高崎	関東学園大学附属	山崎	堀川
館林		鴨沂	日吉ヶ丘
		嵯峨野	洛西
		桂	鳥羽
		桃山	南陽
		城陽	京都工学院
		亀岡	宮津天橋
		園部	丹後緑風
		綾部	大谷
		福知山	東山
		工業	洛南
		西舞鶴	京都橘
		海洋	京都産業大学附属
埼玉県	0/3	和歌山県	5/14
豊岡	越谷南	星林	新宮
		海南	開智
		日高	和歌山信愛
		神島	近畿大学附属和歌山
千葉県	1/3	滋賀県	2/11
成東	長生	東大津	米原
		石山	虎姫
		彦根東	比叡山
		八日市	
東京都	0/1	京都府	25/74
八王子実践		山城	堀川
		鴨沂	日吉ヶ丘
		嵯峨野	洛西
		桂	鳥羽
		桃山	南陽
		城陽	京都工学院
		亀岡	宮津天橋
		園部	丹後緑風
		綾部	大谷
		福知山	東山
		工業	洛南
		西舞鶴	京都橘
		海洋	京都産業大学附属
神奈川県	1/3	和歌山県	5/14
多摩	海老名	星林	新宮
		海南	開智
		日高	和歌山信愛
		神島	近畿大学附属和歌山
新潟県	0/1	滋賀県	2/11
新潟南		東大津	米原
		石山	虎姫
		彦根東	比叡山
		八日市	
長野県	3/11	京都府	25/74
須坂	伊那弥生ヶ丘	山城	堀川
長野西	東京都市大学塩尻	鴨沂	日吉ヶ丘
上田	松本秀峰	嵯峨野	洛西
諏訪清陵		桂	鳥羽
		桃山	南陽
		城陽	京都工学院
		亀岡	宮津天橋
		園部	丹後緑風
		綾部	大谷
		福知山	東山
		工業	洛南
		西舞鶴	京都橘
		海洋	京都産業大学附属
山梨県	1/3	和歌山県	5/14
甲府第一	日本航空	星林	新宮
甲陵		海南	開智
		日高	和歌山信愛
		神島	近畿大学附属和歌山
富山県	6/29	滋賀県	2/11
桜井	高岡商業	東大津	米原
魚津	氷見	石山	虎姫
滑川	砺波	彦根東	比叡山
富山東	福岡	八日市	
富山	大門		
富山いずみ	南砺福野		
八尾	富山国際大学付属		
高岡			
石川県	3/22		
大聖寺	七尾		
小松	小松明峰		
鶴来	野々市明倫		
金沢二水	金沢		
金沢桜丘	星稜		
羽咋	金沢学院大学附属		

京都聖母学院	京都成章	島根県	2/4
福知山成美	京都国際	松江南	三刀屋
		松江商業	浜田
大阪府	9/62	広島県	6/11
池田	大阪商業大学	海田	祇園北
桜塚	好文学園女子	賀茂	沼田
千里	浪速	加計	広島
市岡	大阪女学院	安古市	広島県瀬戸内
四條畷	大谷	福山	
牧野	四天王寺		
八尾	香里ヌヴェール学院	山口県	1/5
今宮	箕面自由学園	下松	大津緑洋
東住吉	大阪産業大学附属	山口	慶進
生野	近畿大学附属	下関西	
東	清風		
北千里	常翔啓光学園	徳島県	4/14
芥川	早稲田摂陵	城東	富岡西
山田	金蘭千里	城南	川島
追手門学院大手前	関西創価	小松島	池田
大阪学芸	帝塚山学院泉ヶ丘	富岡東	徳島市立
開明	大阪青凌		
興國	大阪桐蔭	香川県	1/6
精華		観音寺第一	大手前高松
		高松中央	
兵庫県	34/115	愛媛県	7/17
御影	八鹿	愛媛大学附属	八幡浜
夢野台	洲本	今治西	宇和
星陵	宝塚西	松山南	宇和島東
北須磨	相生	松山北	南宇和
西宮南	東播磨		
芦屋(県立)	西宮(市立)	高知県	0/3
尼崎北	西宮東	中村	土佐
伊丹(県立)	尼崎(市立)	高知商業	
伊丹北	網干		
川西緑台	明石城西	福岡県	4/10
川西明峰	姫路飾西	八幡南	稲築志耕館
有馬	北摂三田	新宮	鞍手
柏原	兵庫県立大学附属	筑紫	九州国際大学付属
氷上	西宮香風	久留米	近畿大学附属福岡
篠山鳳鳴	三田祥雲館		
篠山産業	豊岡総合	佐賀県	1/1
明石	神戸鈴蘭台	三養基	
加古川西	神戸星城	長崎県	2/5
小野	滝川	佐世保北	長崎北陽台
社	須磨学園	佐世保西	長崎南山
龍野	雲雀丘学園		
姫路商業	園田学園	熊本県	2/5
飾磨工業	報徳学園	済々黌	第二
相生産業	姫路女学院	第一	必由館
太子	東洋大学附属姫路		
豊岡	近畿大学附属豊岡	大分県	3/8
奈良県	1/4	高田	大分豊府
橿原	天理	白杵	別府翔青
国際		中津南	大分東明
		大分南	
和歌山県	5/14	宮崎県	5/13
星林	新宮	延岡	都城商業
海南	開智	日向	佐土原
日高	和歌山信愛	宮崎大宮	宮崎第一
神島	近畿大学附属和歌山	宮崎西	日南学園
鳥取県	8/19	鹿児島県	2/12
鳥取東	米子西	甲南	松陽
鳥取工業	境	甲南	松陽
八頭	鳥取敬愛	川内	鶴翔
倉吉東	倉吉北	屋久島	楠隼
倉吉西		鹿児島玉龍	鹿児島実業
岡山県	8/18	沖縄県	3/11
岡山芳泉	林野	那覇	向陽
岡山南	倉敷古城池	普天間	那覇国際
倉敷南	玉野光南	宮古	沖縄尚学
津山	岡山城東	開邦	興南
玉島(県立)	就実		
笠岡工業	明誠学院	その他	0/2
西大寺	岡山県美作	高等学校卒業程度認定試験	
和気閑谷		及び外国人留学生等	

就職状況

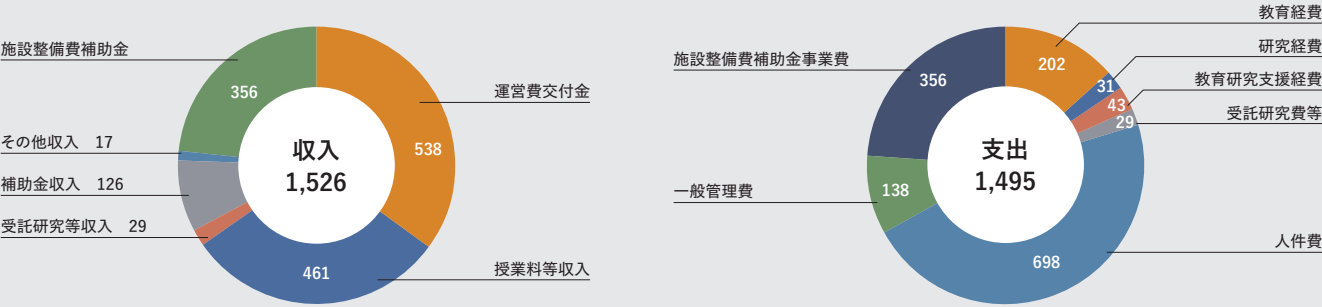


就職先 ※は本社所在地または配属先所在地(地域限定配属)が北近畿地域 2022年度

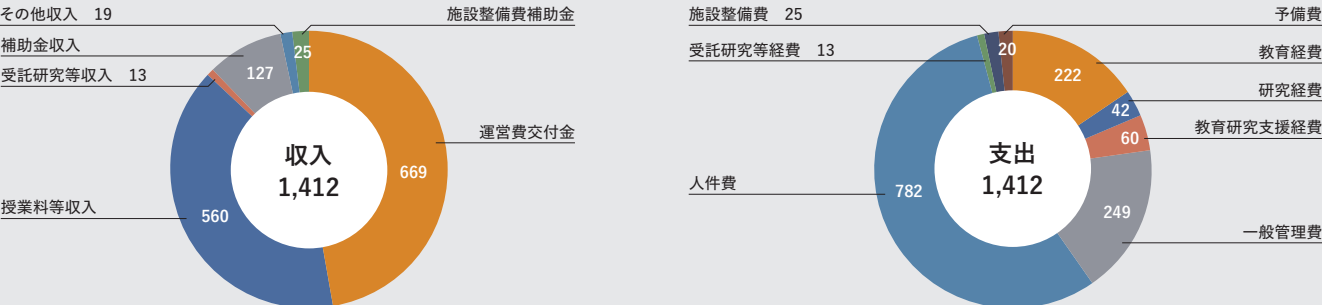
業種	就職先
建設業	㈱ウッズカンパニー／㈱澤村／前田工業㈱*
製造業	㈱アリミノ／井上電気㈱／AGC若狭化学㈱／金子コード㈱／兼房㈱／㈱ケイシイシイ／佐川印刷㈱／三協立山㈱／トーアエイヨー㈱
情報通信業	㈱オルトス／㈱シーエスアイ／スターティアホールディングス㈱／㈱ソフトウェア・サービス／大和電設工業㈱／㈱ライトアップ／徳洲会インフォメーションシステム㈱／㈱PKUTECH／㈱マイタウン今治新聞社／レイサス㈱／レイスグループ(mode㈱)
運輸・郵便業	カンダコーポレーション㈱／㈱近鉄ロジスティクス・システムズ／㈱サカイ引越センター／ヤマト運輸㈱／㈱関西丸和ロジスティクス
卸売・小売業	イオンモール㈱／井上㈱*／㈱カナデン／菅公学生服㈱／キムラ㈱／ゲンキー㈱／㈱コメリ／㈱ザグザグ／総合食品エスイー(株)／ソルタホールディングス㈱／㈱トヨタレンタリース兵庫／㈱中庄本店*／㈱ヒラタ／㈱フジデン／ベルヴィ㈱／横浜冷凍㈱／㈱リトルクリエイティブセンター／㈱良品計画／㈱ワキタ
金融・保険業	㈱エヌケーシー／大垣西濃信用金庫／㈱かんば生命保険／紀北信用金庫／㈱京都銀行／京都北都信用金庫*／㈱静岡銀行／城北信用金庫／㈱但馬銀行*／㈱鳥取銀行／日本生命保険(相)／楽天銀行㈱
不動産・物品賃貸業	㈱朝日ビルディング／エクセレント㈱／㈱長谷工コミュニティ／㈱メイクス／㈱リロパートナーズ
宿泊・飲食サービス業	㈱ジェイアール西日本ホテル開発(ホテルグランヴィア京都)／ソシオークホールディングス㈱／㈱ホテル市原クラブ／リゾートトラスト㈱
教育・学習支援業	㈱viling／(大)富山大学
医療・福祉	(特非)あいあい老人ホーム／(医)IMSグループ／(福)ウエル清光会／(医)協和会 加納総合病院／(一財)温知会 会津中央病院／(地独)加古川市民病院機構／京都大原記念病院／(医)栄寿会 天満病院／国家公務員共済組合連合会 大手前病院／(医)健和会 健和会病院／(医)厚生会 中部国際医療センター／(独)国立病院機構東海北陸グループ／㈱ファクトリージャパン／(宗)在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院／(地独)静岡県立病院機構／社会保険診療報酬支払基金／(公財)田附興風会 医学研究所 北野病院／(公財)丹後中央病院*／市立砺波総合病院／(医)博俊会 春江病院／パナソニック健康保険組合／(公財)星総合病院／まつむら眼科クリニック／(医)渡邊高記念会 西宮渡辺病院
複合サービス業	兵庫県信用農業協同組合連合会／鹿児島商工会議所
その他のサービス業	アデコ㈱／㈱オン・ザ・プラネット／環境開発㈱／㈱コプロ・エンジニアード／東和産業㈱／㈱freemova／㈱みぼろ／(独)水資源機構／新川広域圏事務組合
公務(国家・地方)	静岡県／大分県／福知山市*／綾部市*／黒部市(富山県)／小浜市(福井県)／鯖江市(福井県)／三好市(徳島県)／飯南町(島根県)

財務状況

令和4年度決算 (単位:百万円)



令和5年度予算 (単位:百万円)



外部研究資金獲得 (単位:千円)



寄附金受入 (単位:円)

年度／受領先	法人		個人		計
	件数	金額	件数	金額	
2019	3	205,369	6	775,634	981,003
2020	2	651,433	15	2,456,176	3,107,609
2021	3	1,293,300	11	5,053,155	6,346,455
2022	2	1,016,372	21	1,796,397	2,812,769

地域連携

連携協定

2023年5月1日現在

締結団体	締結日	締結団体	締結日
国立大学法人京都工芸繊維大学	2016/12/1	綾部市	2019/1/10
大江まちづくり住民協議会	2017/1/18	伊根町	2019/1/10
三和地域協議会	2017/1/18	宮津市	2019/1/10
夜久野みらいまちづくり協議会	2017/1/18	舞鶴市	2019/1/10
京都北都信用金庫	2017/3/31	与謝野町	2019/1/10
但馬信用金庫	2017/5/26	京丹後市	2019/1/10
一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社	2017/6/23	朝来市	2019/1/25
西日本旅客鉄道株式会社	2017/12/1	丹波市	2019/1/25
京都府	2018/10/22	舞鶴工業高等専門学校	2021/6/30

連携相談対応

2022年度

連携対応数	成約済件数	内訳			
		受託研究	受託事業	共同研究	連携事業
65件	48件	4件	9件	7件	28件

委員・講師派遣

2022年度

委員派遣			講師派遣			高校等への出張講義
自治体	教育機関	その他	自治体	教育機関	その他	
97件	3件	3件	33件	29件	18件	47件

公開講座

2022年度

日程	演題等	講演者
6/20	第1回市民講座:「クラウドファンディングによる地域活性化」 ①クラウドファンディングによる地域活性化 ②史上最高クラスを達成したクラウドファンディングの舞台裏	①板越ジョージ氏(クラファン総研株式会社社長／株式会社日本M&Aセンター顧問) ②羽星大地氏(株式会社CraftBank CEO)
9/28	第2回市民講座:「まちづくりにおける地域企業の挑戦」 ①京都北部の企業・自治体と連携した大学の教育プログラムの今 ②中小企業の地域資源を活かしたまちづくり	①桑原教彰氏(京都工芸繊維大学教授／地域創生Tech Program長) ②大滝雄介氏(株式会社大滝工務店代表取締役／一般社団法人KOKIN代表理事／合同会社HOUKO代表)
11/25	第3回市民講座:「“教育”でまちづくりを考える」 ①SDGs・自然教育がもたらす子育て世代の流入 ②教育のために地域社会ができること、地域社会のために教育ができること	①高岸通氏(アランチヲネ株式会社／取締役事業部長) ②福島真治(本学地域経営学部准教授)
2/26	第4回市民講座:「ゲームを用いた教育と地域貢献」 ①Minecraftを用いたプログラミング教室や地域協働型教育の取り組み紹介 ②エデュテイメントって何?～ゲームで教育は可能なのか～	①藤井叙人(本学情報学部講師) ②正頭英和氏(立命館小学校主幹教諭)
8/18～8/20	小学生向けプログラミング教室 「ゲームでプログラミング」	藤井叙人(本学情報学部講師)
8/10～8/12	小学生向けプログラミング教室 「プログラミング道入門」	眞鍋雄貴(本学情報学部講師)
8/10～8/12	中学生向けプログラミング教室 「コンピュータによる2足歩行ロボットの制御」	池野英利(本学情報学部教授)
8/18～8/20	中学生向けプログラミング教室 「サウンドコンピューティング講座」	橋田光代(本学情報学部准教授)
3/9	3Dプリンタ体験講座 「3Dプリンタを使ったものづくりを体験しよう!～3D CADの操作から3Dプリンタ造形出力まで～」	衣川昌宏(本学情報学部准教授)

共同研究

2022年度

共同研究機関	契約内容	担当者
株式会社サイバーエージェント 国立大学法人大阪大学 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部京滋支社福知山支店	ロボットとICT技術による福知山駅活性化の検討	倉本到教授
福知山市内企業	実装ライン生産計画の最適化	渡邊扇之介准教授
福知山市内企業	産業用ロボット監視システム	山本吉伸教授
毛原の棚田ワンダービレッジプロジェクト	ハイブリッド型電子地域通貨システム運用実証実験	山本吉伸教授
伊根町	持続可能なまちづくり調査研究事業	佐藤充准教授 谷口知弘教授
夕日ヶ浦観光協会	マーケティング・リサーチに基づく地域ブランディングの構築手法に関する研究	佐藤充准教授
福知山市内企業	解砕ホッパーケータ量検出の研究	神谷達夫教授

受託研究

2022年度

委託者	契約内容	担当者
独立行政法人日本学術振興会	AIが介護保険行政を代行する際のルールに関する研究 ー地域経営とSCの視座からー	川島典子教授
兵庫県公立大学法人	画像を用いた森林の生物データの取得及び管理システムに対する情報技術の開発	池野英利教授
大江山酒呑童子祭り実行委員会	和紙を使った光の効果の検証	神谷達夫教授
福知山市	ラーニングイノベーション・プロジェクト監修業務	畠中利治教授
夜久野みらいまちづくり協議会	まちづくり協議会のホームページの再検討	井上直樹教授

受託事業

2022年度

委託者	契約内容	担当者
福知山市	シニアワークカレッジ運営事業支援業務	西田豊明教授
福知山市	NEXT産業創造プログラム運営業務	亀井省吾教授
中六人部地域づくり協議会	スマホ活用初心者講座	山本吉伸教授
福知山市	スマートシティふくちやま生涯学習市民講座 「スマホ・タブレット活用初心者講座」実施業務	山本吉伸教授
福知山市外企業	AIを用いた測定機異常検知の研究	畠中利治教授
公益財団法人福知山市都市緑化協会	ホームページ再構築業務	山本吉伸教授
京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会	自治体職員向けDX導入研究講座	畠中利治教授
福知山市	令和4年度「まちづくり構想 福知山」に係る市民アンケート集計・分析業務	大谷杏准教授
福知山市	ふくちやま応援プレミアムポイントに係る経済波及効果等分析支援業務	三好ゆう准教授 畠中利治教授

メディア掲載

※本学調べ

2022年度

媒体	件数
新聞	287件
その他	50件

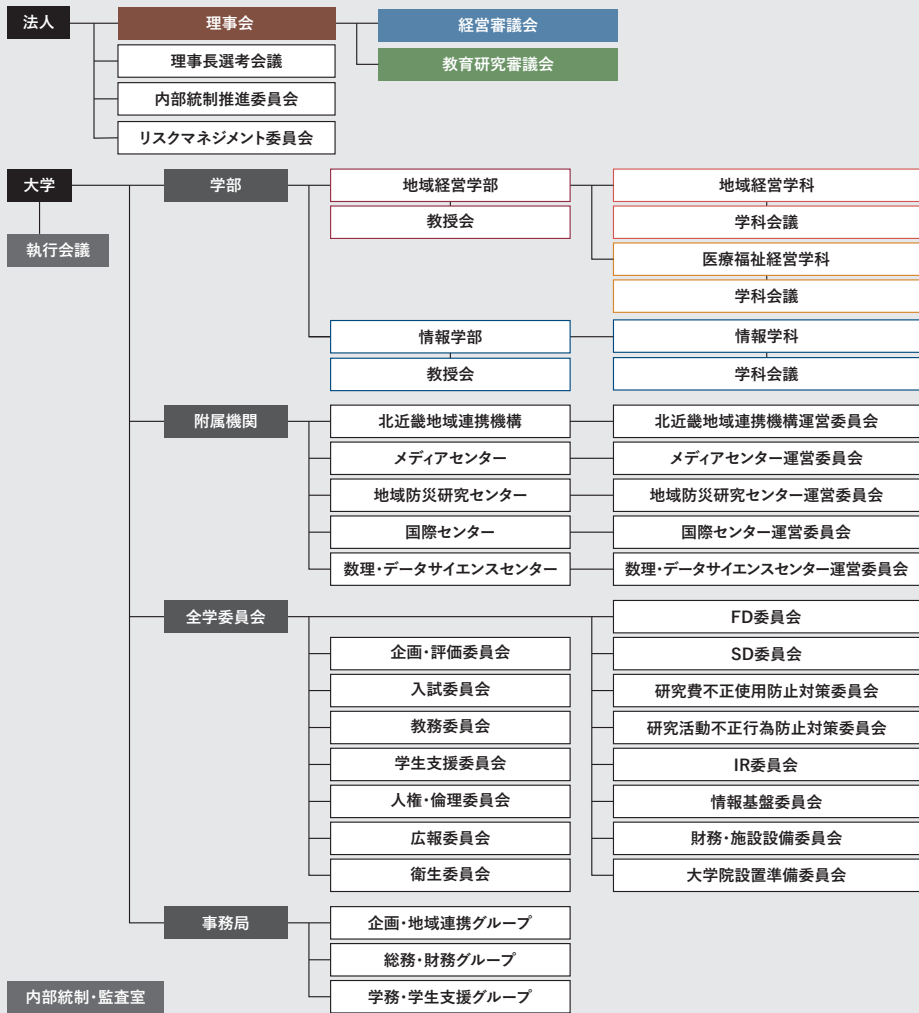
役員

職名	氏名	所属等
理事長	川添信介	福知山公立大学学長
理事(地域貢献・評価担当)	西田豊明	福知山公立大学副学長・教授
理事(学務・総務担当)	倉田良樹	福知山公立大学副学長・地域経営学部長・教授
理事(大学運営担当)	柴田洋三郎	公立大学法人福岡県立大学理事長・学長
理事(地域連携担当)	仁張直敏	ニッパリ株式会社社名誉顧問
監事	小嶋勝	公認会計士・税理士
監事	西垣秀照	元但馬信用金庫監事

経営審議会委員

氏名	所属等
川添信介	福知山公立大学学長
西田豊明	福知山公立大学副学長・教授
倉田良樹	福知山公立大学副学長・地域経営学部長・教授
仁張直敏	ニンバリ株式会社名誉顧問
足立正	福知山商工会議所 産学連携特別委員会委員長
寒竹聖一	WILLER株式会社執行役員
小林加奈子	株式会社小林ふぁーむ代表取締役
田村雅之	福知山市市長公室長

組織図



教育研究審議会委員

氏名	所属等
川添信介	福知山公立大学学長
西田豊明	福知山公立大学副学長・教授
倉田良樹	福知山公立大学副学長・地域経営学部長・教授
池野英利	福知山公立大学情報学部長・教授
山田篤	福知山公立大学地域経営学部教授(教務委員長)
畠中利治	福知山公立大学情報学部教授(入試委員長)
井上直樹	福知山公立大学地域経営学部教授(学生支援委員長)
倉本到	福知山公立大学情報学部教授(大学院設置準備委員長)
今井一之	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 入試広報コーディネーター
岡田知弘	京都橋大学経済学部教授
落合登志哉	京都府立医科大学附属北部医療センター病院長
坂根文伸	京都府教育庁指導部高校改革推進室 高校改革アドバイザー
中村佳正	大阪成蹊大学学長・教授
三田真史	京都新聞社北部総局長

教職員数

教員

職名	人数	
	地域経営学部	情報学部
教授	14	9
准教授	12	5
講師	0	4
非常勤講師	9	8

事務職員

職名	人数
専任職員	28
嘱託職員	5
非常勤職員	16

キャンパスマップ



■ **1号館** 2,362.65㎡
学長室／副学長室／事務局／数理・データサイエンスセンター／研究室(情報学部)／演習室



■ 2号館 1,869.33㎡

北近畿地域連携機構／センター共同事務室（地域防災研究センター・国際センター）／研究室（情報学部）／演習室／保健室／アクト教室（課外活動室）



■ 3号館 1,756.08㎡
講義室／実験室／セミナー室／大学・
地域連携室



■ 4号館 6,471.7㎡
講義室／PC演習室／セミナー室／研
究室(地域経営学部)／メディアセン
ター／カウンセリングルーム



■ 5号館 282.08㎡
研究室(情報学部)/演習室



■ 学生食堂 634.99m²

アクセス



- JR京都駅→福知山駅 最短75分
- JR大阪駅→福知山駅 最短91分
- 大阪なんば→福知山駅 107分(高速バス)
- 神戸三宮→福知山駅 90分(高速バス)



- 福知山駅北口より京都交通バス堀循環線にて「平和公園下」または「小谷ヶ丘・福知山公立大学前」下車、徒歩6分
- 福知山駅南口よりタクシーにて5分 ● 徒歩にて30分